

高等部の教育の重点 ～働くこと・役立つことを学ぶ高等部の教育～

1 高等部でつけておきたい力

高等部では、すべてのコースで「働くことをめざし、生活する力を高める」をテーマとして学習のねらいを考えます。各教科等を合わせた指導（作業学習、生活単元学習等）を中心とした教育課程を編成し、これまでに培った力を実際の社会や実習の場面で活用することで、力の積み上げ、新たな力の獲得をめざします。

＜高等部でつけておきたい5つの力＞

（健康）生活習慣を身に付け、健康に生きる力

（生活）衣食住、時間などを管理し、役割を担い生活を整える力

（人）場の状況に応じた言動や行動ができる、かつ必要な時には支援を求める力

（地域）社会人としてマナーや行動を身に付け、地域活動に参加する力

（働く）働く喜びを感じ、貢献する・働く力

◎学力：これらの力を支える基礎的・基本的な学力

2 高等部のコース制

高等部では、よりよい学びを実現する3つのコースを設定しています。

くらし健康コース 生活の質の向上や地域とのかかわりを広げ、福祉就労など、社会に参加できる力を身につけるコース

くらし地域コース 文化的活動による自己表現の力や福祉就労・企業就労など地域の中でも活動できる力を育てるコース
個々の実態や支援内容に応じて、グループを分けて学習する授業も展開しながら、生活の基盤を整えることや働くための基本的な力をつける学びを中心に進めています。

くらし職業コース 企業就労を目指し、労働・家庭生活・余暇のバランスがとれ、自立した生活を送る力を育てるコース
口頭指示による一斉指導や生徒同士の学び合いを主に、全体のペースに応じて、自ら考え判断し、主体的に行動することを中心とした学びを進めています。

※コース選択については、本人・保護者の意向を大切にしながら、本人の将来像に応じたコースを学校が選択します。

※自立と社会参加を目指す学校として、可能な限り自主通学を勧めています。

※くらし職業コースは、一人で公共交通機関を使って通学できる力が必要です。

※自主通学（電車・バス・自転車等）を希望した場合は、申請通りの通学方法で、ルールに従って通学する必要があります。

※コースは学び方の違いであって、進路先を決めるためのものではありません。

3 高等部の授業

(1) 作業学習

高等部では、一日を通じて働くことをめざして、午前・午後続けての作業学習日を設定しています。作業活動では、働く力を高めることと合わせて、働く、貢献する意欲を高めることを目標とします。

作業内容は、物作りから販売までの一連の作業を学ぶ「窯業」「農園芸」に取り組みます。また地域に貢献する清掃活動としての「ビルメンテナンス」に取り組みます。くらし職業コースでは、相手に応じて自ら考え行動することが必要となる接客、販売を取り入れた「喫茶」にも取り組みます。

また、各コースとも作業学習から福祉事業所や企業等での現場実習をとおして、地域社会と関わりをを広げていき、将来の就労や社会参加をめざした取組を進めます。

高等部では、「あいさつ、返事、報告」「身だしなみ」「言葉遣い」など職業教育に関わる内容を学校生活全般で指導します。

作業学習の作業種例

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 物づくり系の作業学習 | 窯業【全コース】、農園芸【くらし地域コース】 (販売学習) |
| 清掃系の作業学習 | ビルメンテナンス【くらし地域・職業コース】 (地域貢献活動) |
| サービス系の作業学習 | 喫茶【くらし職業コース】 (接客・販売学習) |

※コースによる作業種設定は、将来の進路先を決めるためのものではありません。よりよい進路選択を実現するために、様々な作業種の学習をとおして、働くために必要な力を身につけます。

(2) 生活単元学習

生活単元学習では、卒業後の自立的な生活に必要な力の獲得をめざし、生活年齢を考慮した生活上の課題の処理・解決を経験できる学習内容を設定します。

生活に基づいた広範囲の内容を実際の活動の中で学びます。活動によって身に付けた関心・意欲・技能・態度が地域での実生活に役立ち、活用できることをめざします。

学年制による生活年齢を軸に共通の課題意識をもって、クラスの仲間、あるいはコースを越えて共同で取り組めるようにするとともに、個々の生徒のニーズを明確にして、一人一人にあった活動に積極的に取り組めるように指導します。

(3) 日常生活の指導

日常生活の指導では、日々の日課の中で基本的な生活習慣の確立や集団生活への参加に必要な能力の向上を図ることにより、学校生活や家庭生活をより自立的、発展的なものにし、将来の社会生活へのよりよい参加や適応をめざします。

- (1) 基本的な生活習慣の確立に関する内容
(食事、排泄、衣服の着脱、清潔、健康な身体作り・安全など)
- (2) 集団生活に必要とされる内容
(対人関係、コミュニケーション、あいさつ、受け答え、ルールを守る、係活動など)

(4) 基礎的な学習の時間

「基礎的な学習の時間」では、卒業後の生活や働く場面で必要となる知識やその時々に取り組んでいる実際的・具体的活動（生活単元学習、作業学習、現場実習など）を補完する内容に取り組みます。繰り返し取り組んだり、仲間と取り組んだりすることをおして、できる実感を持ち、もっとしたい・知りたい、よりよくしたいという学習や生活への意欲を高め、卒業後の生活が充実することをめざします。

- (1) 社会生活に必要な基礎的・基本的な学力や一般的な知識（文字や漢字の読み書き、かかる時間の計算や出発時刻、地図の見方、正確に、道具を使って、だいたい、何分目、ページ配分、社会情勢に関わること、自分で解決する方法の獲得）
- (2) 働くための健康づくり、体力づくり、対人関係づくり、社会性の獲得など自立活動に関わる内容（ランニング、集団によるゲーム、対象物に注視する、因果関係がわかる、補助具やスイッチ等を用いてのできた感覚がわかる方法の獲得）

4 高等部で行う「地域学習」

地域の方への製品販売、地域貢献活動など実践的な活動をとおして、周りの状況を見て適切に判断し、行動することや適切な言葉を使うことをめざします。

地域の中で協働する（責任を果たす）、貢献する（地域に役立っている）、自ら活動する、という学習をとおして、社会の一員としての意識を高めていきます。

(※本校は共生社会の推進をめざしています。)

5 高等部で行う交流及び共同学習

同じ高校生として具体的な活動をとおして互いに相手を理解し、認め合うことで、豊かな人間関係を築くことをめざします。

本校「カフェ JOY」では木津高等学校の製造する紅茶を提供しており、さらに木津高等学校の生徒とハーブティーの共同開発等、実際の授業を通じて学校間交流を行いました。今年度も引き続き取り組みます。

その他、府立高等学校とのスポーツ交流等も実施しています。

6 卒業生の進路について

過去5年間の卒業生進路状況（※令和4年3月31日現在）

| コース | 卒業時進路 年度 | 生活介護 | 自立訓練 （※1） | 就労継続B | 就労継続A | 就労移行 | 京都専門学校 （※2） | 城陽専門学校 （※3） | 一般企業等 （※4） | その他 （進学在宅等） | |
|------------------|-------------|------------|--------------|------------|-----------|------------|----------------|----------------|---------------|----------------|-------------|
| | | | | | | | | | | | |
| 健康 暮らし コース | H29 | 2名 | | | | | | | | | 2名 |
| | H30 | 6名 | | | | | | | | | 6名 |
| | R元 | 2名 | | | | | | | | | 2名 |
| | R2 | 5名 | | | | | | | | | 5名 |
| | R3 | 1名 | | | | | | | | | 1名 |
| 地域 暮らし コース | H29 | 4名 | 1名 | 8名 | 2名 | 2名 | | | 2名 | | 19名 |
| | H30 | 6名 | 1名 | 6名 | 2名 | 3名 | | 1名 | 2名 | | 21名 |
| | R元 | 4名 | | 8名 | 1名 | 2名 | | | 1名 | | 16名 |
| | R2 | 10名 | | 8名 | 1名 | 1名 | | | 1名 | | 21名 |
| | R3 | 8名 | 2名 | 13名 | 1名 | | | | 2名 | 1名 | 27名 |
| 職業 暮らし コース | H29 | | 1名 | | | | | | 8名 | | 9名 |
| | H30 | | | 1名 | | | 2名 | 1名 | 10名 | | 14名 |
| | R元 | | | 3名 | 1名 | | 2名 | | 7名 | 2名 | 15名 |
| | R2 | | | 1名 | | 2名 | 3名 | | 7名 | 3名 | 16名 |
| | R3 | | 1名 | | | | | | 14名 | | 15名 |
| 5年間総計 | | 48名 | 6名 | 48名 | 8名 | 10名 | 7名 | 2名 | 60名 | 6名 | 189名 |

※1 …障害者自立訓練（生活訓練）事業（プエルタ、ジョイアスクールつなぎ、工房あすくNext）

※2 …京都府立京都障害者高等技術専門学校

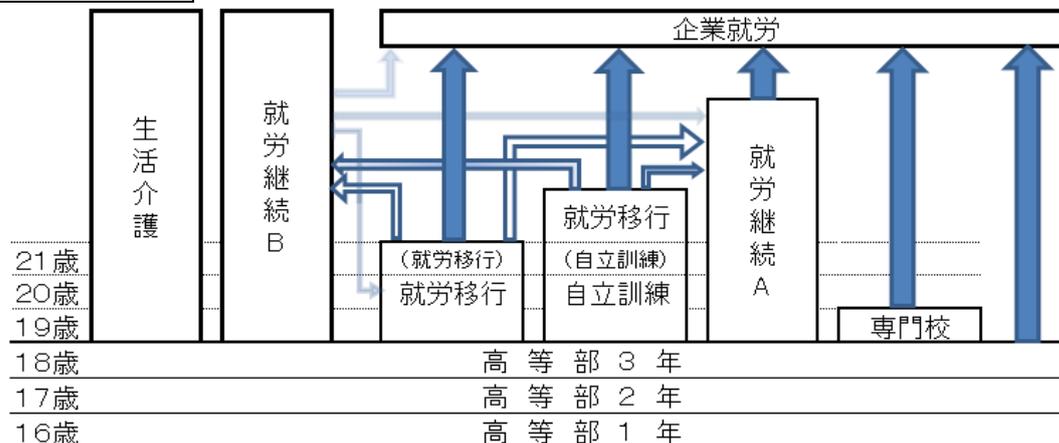
※3 …京都府立城陽障害者高等技術専門学校

※4 …事務補助、製造業、食品加工、介護補助、清掃業、販売業、リネン等

卒業生の就労先（抜粋）

宇治徳洲会病院、宇治武田病院、サカイ引越センター、アピタ、びっくりドンキー、かごの屋、ステーキのどん、王将ハートフル、イオンリテール、ワコール、平和堂、総合食品エスイー、京煎堂、マツヤスーパー、三笑堂、宇治市福祉サービス公社、京都府職員、一富士フードサービス、ムラタコスモス、日本通運、ライトオン等

卒業後の進路選択



7 高等部 週程表（例示）

| くらし健康コース 1年生 | | | | | | |
|--------------|------------|---------------------|---|------|---------------------|--------|
| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| | | 登校 | | | | |
| 9:00 | 1校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 10:00 | 2校時 | 自立活動/基礎的な学習の時間 | | | | |
| 11:00 | 3校時 | 生活単元学習 総合的な探究の時間 | | 作業学習 | 生活単元学習 総合的な探究の時間 | |
| 11:50 | 4校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 12:10 | 給食 | | | | | |
| 13:20 | 5校時 6校時 | 自立活動 基礎的な学習の時間 | | 特別活動 | 自立活動 基礎的な学習の時間 | |
| 14:10 | 7校時 | 生活単元学習 | | | 基礎的な学習の 時間 | 生活単元学習 |
| 14:40 | 8校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 15:10 | | 下校 | | | | |

| くらし地域コース 1年生 | | | | | | |
|--------------|------------|---------------------|------|---------------|------|----|
| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| | | 登校 | | | | |
| 9:00 | 1校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 9:20 | | 基礎的な学習の時間 | | | | |
| 10:00 | 2校時 | 生活単元学習 総合的な探究の時間 | | | 作業学習 | |
| 11:00 | 3校時 4校時 | | | | | |
| 12:10 | 給食 | | | | | |
| 13:00 | 5校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 13:20 | 6校時 | 音楽 美術 | 保健体育 | 基礎的な学習の 時間 | 作業学習 | |
| 14:10 | 7校時 | | | 特別活動 | | |
| 14:40 | 8校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 15:10 | | 下校 | 部活動 | 部活動 | 部活動 | 下校 |

| くらし職業コース 1年生 | | | | | | |
|--------------|-----|---------|-------------------------|---------------|--------|------|
| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| | | 登校 | | | | |
| 8:50 | 1校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 9:00 | 2校時 | 作業学習 | 生活単元学習 総合的な探究 の学習 | 生活単元学習 | 音楽 | 作業学習 |
| 10:00 | 3校時 | | | | 美術 | |
| 11:00 | 4校時 | | | | 保健体育 | |
| 12:00 | 給食 | | | | | |
| 12:50 | 5校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 13:00 | 6校時 | 作業学習 | 基礎学 | 基礎的な学習の 時間 | 生活単元学習 | 作業学習 |
| 14:00 | 7校時 | | 情報 | 特別活動 | | |
| 14:50 | 8校時 | 日常生活の指導 | | | | |
| 15:10 | | 下校 | 部活動 | 部活動 | 部活動 | 下校 |